

あすてらすネットワーク

情報Market^{まーけっと}

創刊号

2004.8月

- MENU

「あすてらすフェスティバル2004」～報告～…P2～5

ネットワーク会員リレートーク、お便りコーナー…P6

新着情報 BOOK&ビデオ…P7

編集委員自己紹介…P8



あすてらすフェスティバル2004

～報告～



「あすてらすフェスティバル」は男女共同参画推進月間にあわせて、毎年6月に開催しているものです。県内各地で様々な活動をされている個人、グループのみなさんが日頃の活動を発表し、多くの方々と交流することを目的にしています。今年も6月12日(土)・13日(日)に開催し、自主企画イベントでは96の出演がありました。その中で11の団体の方々に、日頃活動されていることやフェスティバル当日の感想など、素敵なメッセージをいただきましたのでご紹介します。フェスティバルにご参加、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



土江子ども神楽団



銀乃舞姫



韓国民団婦人会



大田市婦人団体連絡協議会



メッセージ

「あすてらすフェスティバル2004」は、両2日間、家族連れ等、多くの来場者をお迎えし、盛大のうちに終わることができました。これもスタッフ一同「笑顔でお迎えして、笑顔でまたお逢いしましょう」の思いが皆さまの心に届いたのではないかと感謝しております。

今回も、人と人との触れあいの中で、幾つかの新しい出逢いと人情ある場面が多く見受けられました。つくづく「私は

人間に生まれて良かったなあ」と感じました。基調講演の白石真澄さん、一人人形芝居のねぎぼうずSAYOさんのお二人も、以前から親交が続いてい



たかのように、気さくに話しかけてくださいました。お別れの時に、ご両人から「島根の女性パワーに驚きました(イメージしていたよりはるかにパワフルだったようです)。活動的で素晴らしい方々が多いですね。圧倒されました。」とお言葉をいただきました。とてもうれしい限りでした。

このたびは、5名の企画委員を支援くださった、OB・OGの実行委員、サポーター、スタッフの皆さまに、全面的にご支援いただきました。そして更に、男女共同参画をすすめる、大田市のバックアップ

があってこそ深く感謝いたしております。これを機に6年目を迎える「あすてらす」がもっともっと地元大田市、県内に定着し、親しみやすい、行きやす

い、ホットな「あすてらす」でありたいと願っています。

(あすてらすフェスティバル2004企画委員：福島恵美子・上部朱美・神谷栄子・貴谷麻以・高橋晴美)

学習型ワークショップ

あんぶれらネットワーク れんげの会

竹とんぼ、紙鉄砲、萱(かや)での虫作り、お手玉遊び、折り紙などの昔の遊びを知らない子どもたち。忘れてしまった大人たち。コツコツと小さな作業を行いながら、大人も子どもも出来上がった時の喜びと使いこなせた時の感動を通して得るもの



は、実際に参加してみた人たちの笑顔と満足感からうかがい知ることが出来ました。そんな「田んぼの学校・里山の学校」を体験してみたいと思いませんか？

イープン²

イープン²は、あらゆる分野への女性の参画を推進するために活動するグループです。フェスティバルでは、「世論は女性議員を求めている」という少し堅いテーマのワークショップを行いました。女性の社会的地位を高めるためには、我々女性の代表としての議員を議会へ送る必要があります。それなのになぜ女性議員はこんなに少ないのでしょうか。世の中の人口の半分は女性です。女性議員をもっと増やす手だてを考え、実践しよう！



島根CAP

CAPとは Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の略です。子どもたちがいじめ・痴漢・誘拐・虐待・性暴力など、その安全を脅かす暴力について何が出来るかを、わかりやすい人権概念をもとに子ども・親・教職員・地域の人々に伝えるプログラムです。私たち大人に何が出来るのか、どう考えていけばいいのか、そして何をすべきなのかをワークショップ(参加型学習会)を通じ、

共に考えてみませんか？

私たち島根CAPは、2002年の発足以来島根県内の様々な研修会、地域の小学校でこのプログラムを提供させていただきました。今年度のあすてらすフェスティバルでも公開ワークショップを開催し、石見地区の子どもの安心・自信・自由を考える人々と子どもの人権について、その考え方を共有することができました。

島根県芸術文化センター 建設室 「ファッションとジェンダー」



来年秋、益田市に開館予定の島根県芸術文化センター「グラントワ」。今回は、「グラントワ」の美術館のコンセプトのひとつ「ファッション」にちなんだ内容のワークショップを行いました。女性服に焦点を絞り、その変遷と、社会における女性の役割の変化について、スライド等を交えて紹介しました。参加者の方々から、大田市近辺で既製服が着られ始めた時期などについてお話を伺うこともでき、楽しい内容となりました。

しまね女性塾2001

「少子化を考える～子育て・少子化についての世代間の意識調査からみて～」

H15年度おしらべおたすけ道場「少子化について」のアンケート調査から、ワークを行いま

した。特に、白石真澄さんの基調講演で、男女共同参画意識を小さい時から育てる、企業の社会意識を変えていくことが少子化解決の一步になると、私たちの提言と同じ方向性のお話があり、提言に確信が得られました。



予定時間を超え、少人数ながら論議が深められ充実したワークでした。今年度は、男女共同参画の絵本づくりに動き出す「しまね女性塾2001」です。

ビデオで女性学



今回はあすてらすライブラリー所有のビデオ「ウォッチングTV」(カナダ製作)を使って話し合いをしました。たった5分間のアニメーションですが、ただひたすら銃撃と暴力が続く画面です。ですが、参加者からはさまざまな感想・印象が出て、約2時間、話が尽きることがありませんでした。

私たちのグループは映画、ビデオ鑑賞を通して、考え話し合う活動をしています。映画をキッカケに楽しみながらの学びもいい良いものです。「こういう映画があるよ」の情報も欲しいので、興味のある方はぜひご連絡ください。



パフォーマンス

五十猛保育園



今年で2回目の参加です。園行事や地域のイベントで活動していますが、県内各地の皆さんに私たちの活動を広く知っていただくこと、園児も意欲的に楽しく取り組んできました。フェスティバルでは、大勢の観客の皆さんから沢山の拍手を頂き、大きな達成感とやり遂げた自信を味わうことができ、これからも生きる力のあふれる子どもを育てる一環として、マーチングバンドに取り組んでいきたいと思えます。



つくしんぼの会



私達は6月13日の午前11時からと午後1時からの2回、絵本の読み聞かせを中心にパネルシアター、手遊び、ブラックライト紙芝居をさせていただきました。絵本好き、お話好きの女性3人組です。

日頃は図書館で自主的に“絵本で遊ぼう”という話し会、また人形劇「たんぼぼクラブ」

などもしています。

今回、あすてらすフェスティバルに参加して、あすてらす以外でもいろいろな行事があるにもかかわらず、午前中は40～50人位の親子、午後からは少人数でしたが、飛び入りで絵本の読み聞かせをしてくださる方もおられ、とてもありがたく勉強になりました。

また、子どもたちの真剣なまなざしが私達にとってはとても嬉しく、喜びとなりました。

販売

アロマあお

「アロマテラピーと

ハンドマッサージ」

アロマテラピーとは、植物のもつ芳香物質である精油の力を借りて、心身を癒し、健康増進や美容に役立てていこうとする自然療法です。資格の取得をきっかけに、日々の生活に香りを取り入れて楽しむ方法を紹介する活動を始め、今回の催しにも参加しました。思いのほか多くの方が立ち止まってくださり、香り体験やハンドマッサージに「気持ちいい」「手が軽くなった」との声をいただいて、私自身の今後の活動への励みにもなりました。

女性パワーアップ教室有志

「いかがですか～！おいしい浜田産のいかめしですよ～。」の第一声で私達の初売り体験はスタートしました。2日間、眠い目をこすりながらの朝4時からのお仕込みでしたが、浜田産のお

いしい真いかに女性パワーアップ教室の心意気をしっかり詰め込んで、ご来場の皆さまにお届けすることができたのではないかと考えています。初めてこの



フェスティバルに参加させていただき、出展・販売団体数の多さもさることながら講演他のイベントにもスケールの大きさを感じました。今回の経験が教室参加者の親睦と更なるパワーアップに繋がったように思います。

わたの里もこもこ

あすてらすフェスティバルは参加団体が多く、活気に満ち盛会でした。また、それぞれの出品物はアイデアに富み、目を見張る作品が多く、このような女性の意気込みパワーを、もっと男性にも知ってほしいと思いました。

わたしたち「わたの里もこもこ」は原料のわたの栽培から手紡ぎ、染色そして手織りと、一連の工程の中で使い心地を保ち、共に、より良い作品作りの向上に努めています。また、地域の人、「わたと自然を楽しむ仲間」との交流の場を温め、よりふくらませていきたいと思えます。



男女共同参画セミナー

レポート

in あすてらすフェスティバル2004

○ 一人人形芝居 ○

「大きな古時計」

「スーパーウルトラ・エグゼクティブ・松」

出演 ねぎぼうずSAYO(西宮小夜子さん)



○ 基調講演 ○

「すべての女性が輝いて生きるために」

講師 東洋大学助教授 白石真澄さん



耳慣れない“一人人形芝居”がどんなものなのか、開演を心待ちにしていた来場者の興奮をよそに、お～おきなのおぼの古時計 おじいさんの時計... お馴染みの曲でゆったりとした雰囲気ではじまり、おぼの曲で盛り上がっていきましました。その直後、会場をどっと沸かせてくれたのは、大阪弁で「私の芝居は結構キツイんですよ。そいだけは初めにゆうときます。島根の人、大丈夫やるか...」と幾分不安そうに公演を引き受けていただいた「ねぎぼうずSAYO」こと西宮小夜子さんでした。

「スーパーウルトラ・エグゼクティブ・松」は、専業主婦だった妻が結婚3年目から掛けていた補償の大きい素晴らしい保険の名称です。定年退職した夫は海外旅行に出かけた妻の留守に、この補償で雇った家政婦と妖しい仲になります。補償が切れて渡された別会計の請求書を見た夫は「嫁ハンやったら全部タダやで」と言いながらも退職金を使い果たしてしまいます。一方、帰宅した妻は一部始終を

聞き、「家のことはお前に全部任した」という夫の言葉で家を売ってしまったことを告げます。途方にくれる夫に、何もなかった結婚当時と同じように一緒に頑張ろうと力強く言う妻。夫婦のやりとりを軸に、普段の生活の中にある固定的な性別役割分担意識などを人形芝居で表現してもらいました。人形使いや脚本が筋金入りなのはもちろんのこと、SAYOさんの人柄や体験からくる迫力が加わり、地元の手話通訳まで虜にしまった舞台は、島根のみなさんの心にもじ～んと響いてきました。

続いての白石真澄さんの講演では、男女共同参画社会とは、男らしさ女らしさを頭から否定することではなく、男女が自らの生き方を選べることのできる社会であるということからお話が始まりました。

先ごろ合計特殊出生率が1.29となったことが発表されましたが、少子化に伴って様々な社会システムを組み立て直す時期に差しかかっています。今後ますます財源や労働力が少なく

なる中で、日本の社会保障システムの支え手を増やしていくためには女性を活用することが必要であり、これからの高齢社会を明るくするためには、女性の老後の長期化という面から、経済的基盤、職業生活を持った人生設計を持ち、65歳から考えるのではなく、若い頃から自分の人生をデザインすることを提案されました。

最後に、男女共同参画社会の実現のためには、一人ひとりの意識を変えていくこととともに、整いつつある法律や制度が機能しているかどうかを目を配ることが必要であること、いくら仕組みが整ってきても、運用する側の意識が変わらなければ社会は全く変わらないことを強調されました。

堅苦しく思われがちな「男女共同参画」ですが、あすてらすではこれからのいろんな切り口でみなさんと共に生きやすい島根づくりをめざして事業を企画します。みなさんのご参加をお待ちしています。

<財>しまね女性センター 福間祐子>

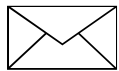
ネットワーク会員リレートーク

「自立をめざして」 中前よし子（西郷町）

平成14年のある日、高3の娘は進学の為関東に出たいと言いました。すでに長男は、関西に出ていますので、数ヶ月後には夫と二人だけの生活が現実のものとなります。共働き夫婦（夫は、家事に協力的）とはいえ、いつも子ども中心に関わっていた母親業が消える？わたしは、社会から取り残された様な一抹の寂しさを感じました。子ども達には、それぞれの目的があります。子育てが終わった母親は何をしたらいいの？自問自答の日々。ふと目にとまったのが『あすてらす』の講座案内「現代を生きるわたしの女性学講座」基礎編でした。もしかしたら、わたしの明日を照らしてくれる何かがあるかもしれないそんな期待を胸に大田に出掛ける事にしました。当日は七夕の日。あすてらすの施設・設備はもちろんのこと、天野正子先生の「女性学への招待」の意図するところが、自分が悩んで

いた答えでした。自分を変える・周りを変える・地域を変えることが「共同参画」の実現へ。まず自分を見つめ直し、自立する事から取り組もう。講座終了後、ライブラリーをのぞいて見ました。女性学に関する本・新聞雑誌どれも新鮮でした。あすてらすを後にする頃には、隠岐にこんな施設欲しいなあ。せめて分室の形でいいからという思いになっていました。講座の申し込みをきっかけに、あすてらすの情報が欲しいのでネットワーク会員になりました。女性ニュース（全国婦人新聞社）の購読と女性学事典（岩波書店）も欲しくて購入。「隠岐・手をつなぐ女性の会」にも入会しました。その後隠岐での「あすてらすお届け講座」（高橋睦子先生・下森華子館長・広岡守穂先生）大社町うらら館での辛淑玉氏の講演会と、素敵な女性に出会えることが出来ました。一方職場では、月1～2回の

男性料理教室を担当しています。1会場10人前後の参加がありますが、とても前向きに取り組んでおられます。食べる事は、一時も欠かせない大切な営みです。高齢化社会の到来で、ますます男性の家事参加が問われる時代となりました。この教室を担当して2年ちょっと。あの時、女性学講座を受けてわたしが変わった様に、微力ながら男性のお手伝いが出来ればと思っています。ハラハラ・ドキドキの料理教室も、終わる頃には和やかに。パートナーへの感謝の気持ちで解散となります。



お便りコーナー

前から観たかったビデオ「チョコレート」(主演のハル・ベリーがオスカーを獲得)をようやく借りました。人種差別、母子家庭など病めるアメリカ社会の問題を扱っていて、公開当時、話題を集めていましたから……しかし、女性の裸があからさまに映し出され目をそむけたくなる程でした。(高校生

の娘と一緒に見ないで良かった。)人間の苦悩とかはけ口を表現する為には、必要不可欠な描写なのかもしれませんが、私には少し疑問が残ります。過去に観てきた映画の中でも数々の赤面する場面に出くわしました。女性の裸を売りものにする感じが、ぬぐいされない私は古いのでしょうか？

(お局様)

MEMO

映画 チョコレート (2001年・アメリカ)
監督 マーク・フォスター
出演 ビリー・ボブ・ソントン
ハル・ベリーほか



今が旬

あすてらす情報ライブラリー
新着情報 BOOK&ビデオ

すれ違う男と女

天乃真中著
河出書房新社



胎児のある時期まではすべての人間が性染色体XXの女、そしてあるホルモンが作用して不安定なXYに分化したのが男。男と女のすれ違う原因が、この性染色体の違いに起因していることが多いと指摘し、生物学的性差からジェンダー論を展開するユニークな一冊である。(fm)

10年後の「結婚しないかもしれない症候群」

谷村志穂著
草思社



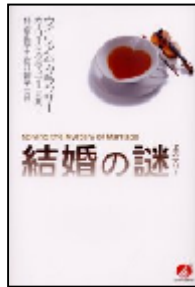
バブルの頃を生きてきた「結婚しないかもしれない症候群」の彼女たちの、自由と揺れる思いの10年後。著者も、結婚、出産しており、「みんなはどうしてるのかな？」と始まる。仕事、恋、家族観、子どもなど、人生の積み木が

組み変わっていく様子と彼女たちが見つけた幸せが、同じ時代を生きてきた私たちの胸に響く。「今」を泳ぐために、同じ時代を超えてきた男女の自分探しにいかが？

(M)

結婚の謎 (ミステリー)

ウィリアム・グラッサー、カーリン・グラッサー共著
柿谷正期、岩井智子共訳
アチーブメント出版



幸せな結婚生活を可能にする方法は、外的コントロール「七つの致命的習慣」をやめて選択理論を実践すること。選択理論心理学の提唱者である、グラッサー博士夫妻の著書。ある夫婦の場合を例に分かりやすく説く。七つの致命的習慣とは？ぜひご一読を。

(B)

キャサリン・マッキノンと語る ポルノグラフィと売買春

C.A.マッキノン著
ポルノ・買春問題研究会編集訳
不磨書房

「表現の自由」と「同意」選択。ポルノグラフィと売買春を考える時、いつもでてくる言葉である。それに対しこの本の作り手キャサリン・マッキノンとポルノ・買春問題研究会は、現実から、当事者から、考えること、行動をはじめ。厳しい現実を理解しやすく語っている。(OH)

お引越し (ビデオ)

制作/読売テレビ株式会社
主人公漆場^{うるしば}レンコは小学6年生。両親は別居する事になり、梅雨のある日父親が一人お引越し。以前の三人の関係を取り戻そうと、レンコは毎年行っていた琵琶湖旅行を計画。そこでの奇妙な体験を通して彼女の心に変化が……。レンコの心の葛藤を中心に迷走する家族像を描く。(H)

ほっと一息
お役立ち情報満載！
(あすてらす2F)

ライブラリー利用ガイド

利用時間 火～日 9:00～17:00
休館日 月曜日・祝日・年末年始・館内整理日(月末)
貸出冊数 図書5冊まで2週間 ビデオ1本1週間

これまで「あすてらすネットワーク通信」を年6回、「あすてらす情報 Market」を年4回発行して来ましたが、二つの情報紙を一本化、「あすてらすネットワーク情報 Market」として、年3回発行することになりました。より内容を充実し、多くの情報を一度にお届け出来たらと思っています。愛読していただける情報紙を目指し皆様と一緒に歩んでいきたいと思っていますので、宜しくお願い致します。



編集委員自己紹介



あすてらすの情報紙に携わって約3年、時がたつのは早い。そして三つも歳をとってしまった。老骨にムチ打って心機一転、また頑張るか~。

出雲市 マー君



情報Marketがリニューアル。私もリニューアル・・・可？ 幅広い情報発信の場となるように微力ながら頑張ります。

斐川町 busuneko



直感と行動力(?)では走れなくなった頃から、子育ても家族の病気も情報収集を踏み台として活用するようになりました。そんな時、あすてらすの情報ライブラリーは最新で分かり易くお気に入り。自分と家族の世界を広げたいこの頃です。

大田市 白くま



人生リセットの年頃になりました。学ぶことと行動することをどう結びつけるかを考えつつ、参加しています。

大田市 ^{すずかけ}涼風



もっか独居生活を堪能中。趣味 = 絵画鑑賞・ガーデニング。マイペースでコツコツが私のモットー。

浜田市 ハッシ -

ご意見・情報をお待ちしています

住所・氏名(グループ名)・電話番号を明記の上、下記あてにお送りください。FAX、メールも歓迎です。匿名希望の方はペンネームをご記入ください。原稿は500字以内、イラスト、漫画は葉書大以内でお願いします。



掲載させて頂いた方には500円分の図書券をさしあげます。

INFORMATION

利用のご案内

開館時間
9時~21時(受付時間は9時~17時まで)
休館日
毎週月曜日、国民の祝日・休日 / 年末年始(12月29日~1月3日)
宿泊施設休業日
毎週日曜日、国民の祝日・休日 / 年末年始(12月28日~1月3日)

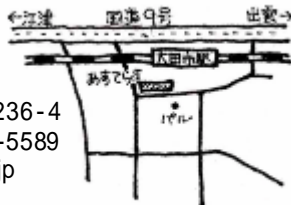
鳥根県立男女共同参画センター

あすてらす

〒694-0064 鳥根県大田市大田町大田イ236-4
Tel. 0854-84-5500(代) Fax. 0854-84-5589
E-mail. asu-12@asuterasu.pref.shimane.jp

発行: 財団法人しまね女性センター

編集: 情報Market編集委員 表紙イラスト: おくのあけみ



編集後記

今年の夏は暑い! 毎年そう言っている気がします。地球が少しずつ変化しているようで、不気味な感じです。汗を拭きながら編集に取り組んでいる姿も傍目には不気味かも。なりふりかまわず頑張ります。次号をお楽しみに!!

(H)